

国東中央公民館だより

発行 国東中央公民館
館長 岐部

コロナ禍でも**元気に活動!**

屋外活動で交流（感染に留意しながら）

今年度も各地区公民館で、グランドゴルフ大会やアートめぐりで、参加者の健康増進と学習を深める取り組み推進

○国際交流と「くにさきアート巡り」～郷和大学

昨年に引きつづき、今年度も市内に点在するアート巡りを10月16日に実施しました。参加者は、小中学生14名・保護者3名・幼児3名に加えて、今年は志成学園のALTでアメリカ人のロバートさんも参加し、国際交流も深めることができました。

9時45分アストをスタート、コースは以下のとおりです。

①祇園山プロジェクト

作品名～「光る道」・「首飾り」

作家名～ 島袋 道浩

階段のない参道を登りました。↓



②鶴川プロジェクト

作品名～「Kunisaki House」

作家名～ レイチェル・ホワイ

トリード ↓



③来浦プロジェクト（来浦海岸）↓

作品名～「息吹」

作家名～ 島袋 道浩



④岐部プロジェクト ↓

（国見ふるさと展示館）

作品名～「説教壇」

作家名～ 川俣 正



⑤馬ノ瀬プロジェクト（馬ノ瀬）

作品名～「マノセ」

作家名～島袋 道浩

海岸で立木を立てたり、穴の空いた石を探したりしました。↓



⑥千燈プロジェクト（不動茶屋）

作品名～「ANOTHER TIME XX」

作家名～アントニー・ゴームリー

不動茶屋から歩いて10分 峯道なので足元注意です。↓



⑦成仏プロジェクト（成佛寺）→

作品名～「Hundred Life Houses」

作家名～宮島 達男

成佛寺から歩いて5分程です。

17時頃アストに無事着きました。

市内のアート作品を堪能できますので、皆さんも是非見てほしいと思います。



グランドゴルフ大会、各公民館で開催

文溪大学では11月15日（火）に、豊泉大学は11月17日（木）にグランドゴルフ大会を実施し、多くの参加者が元気にプレーに集中していました。コロナ禍で今まで思うように練習ができなかった人もい

るようですが、皆さん明るい笑顔で楽しい時間を過ごすことができました。お世話いただいた運営委員長・館長・主事など役員の皆様、大変お疲れさまでした。今後とも感染に留意しながら、無理のない範囲で活動を実施してほしいと思います。

<文溪大学では30数名の方が参加されました。>



市営グラウンドでの開催です。



皆さん楽しくプレーしています。



橋永館長より賞品の授与です。



宮本運営委員長の挨拶です。

<豊泉大学では、40数名の方の参加がありました。>



開会あいさつに続いて、さっそく競技がはじまりました。



会場前には幟が立っていました。



終わった後はカフェで一杯

第52回九州70's社会教育研究大会

兼 第73回 大分県公民館研究大会開催

例年開かれている研究大会ですが、今回は社会教育研究大会と兼ねて大分のホルトホールで10月6～7日に実施されました。コロナ感染防止のため、今年も参加者を制限して表彰者の方と役員等の関係者を中心に参加しました。主な内容を紹介します。

公民館運営審議会委員長 藤本加代子さん、表彰!

全体会場の大ホールで大分県公民館連合会表彰式が行われ、国東中央公民館で運営審議会委員長として、公民館活動の充実・振興に多大な貢献をされている藤本加代子委員長が表彰されました。今後もお世話になりますが、引き続き活動の発展にむけご支援をお願い致します。

また、市内からは安岐中央公民館の近藤節子委員、武蔵中央公民館の伊藤恭子元館長、一丸由美子前館長、西武蔵地区公民館の田邊真弓主事も表彰されました。



大ホール表彰式の様子



写真中央に藤本委員長

分科会～第4分科会

テーマ「人生100年時代における高齢者の学びのあり方」

■ **シニアの社会参加の場を創出する** 2つの実践発表を紹介
～公民館と高齢者大学との連携～

佐賀県立鍋島公民館主事 松村早紀子 他

公益財団法人佐賀県長寿社会振興財団は「明るい長寿社会の実現」のための活動の一環として、シニアの生涯学習講座「ゆめさが大学」を開催している。シニアの社会活動の促進と地域社会を担う人材の育成を目標としている。大学は2年生で、1年目は社会参画の必要性について、2年目は地域体験活動「やってみよう」が行われる。

実践例) ①高齢者訪問活動～地域の高齢者サロンや施設でマジックと歌・演奏を披露しているバンドは、体験活動で自分たちのショーが喜んでもらえたことが嬉しくて、卒業後も活動を続けている。

②世代間交流活動～高校生が小学生の門松づくりを指南していた公民館事業に、ゆめさが大学の学生がマジックとバルーンアートで参加した。元々は高校生と小学生の世代間交流事業に、ゆめさがの学生が入ることで3世代交流実現した。

この実践は、公民館職員のグループ研修の一環で行った期間限定の事業だが、ゆめさが大学の学生が地域と繋がることによって、お互いに相乗効果があることが分かった。今後も地域と学生を繋げる試みを継続していきたい。

■ **生きがいづくりは健康づくりから**

久留米市社会教育委員 高宮 隆二

人生100年時代の課題として、健康寿命の延伸と高齢者の孤立化の傾向がますます増加している。増加を抑制するための活動のキーワードは、「楽しさ」、そして「ためになる」の2つである。仲間と楽しみながら体への関心をたかめてもらうことが、レクリエーションや運動を生活の中に取り入れる大きな動機づけとなる。

活動内容①レク式体力チェック～高齢者教室で、男女・障がいの有無を問わず各年齢層に適用し、「いつでも・どこでも・だれもが・簡単に」、そしていつまでも実施できるものである。少人数で実施するため、自然と会話と笑顔が生まれ。月に1度実施し、結果シートに記入し、自身の体の状態を確認することで、運動の必要性を確認できる。

②体験会の実施～高齢者学級のみならず通信制高校の体育の授業でも実施。また、休日には商業施設にブースを設け、買い物に来られた方に声かけし、親子や3世代で体験してもらっている。さらにスポーツ大会会場内でも同様に実施した。また、スポーツ推進委員も研修会でも講義を実施し、普及指導員の資格を取得してもらい活動の周知を図っている。



第4分科会場の様子



シンポジウムで3人が意見

分科会に続いて、2日目全体会では「地域の持続的発展のため、社会教育は何をすべきか」をテーマにシンポジウムが開催されました。シンポジストとして、国東出身で大分大学大学院教授の清国祐二さんも参加され貴重な提言を頂きました。

清国さん～今の世の中の変化を見ると、参加や参画は面倒と思っている人が増加していないか。その場合対話が重要になる。以前は責任者が対話してきまりを作り従っていたが、今それはおかしいと思ってきている。今学校現場では、主体的で対話的な学びの授業改善を目指している。対話で分かり合えることが多いが、その訓練の場が大切であり、公民館などの損得勘定の少な社会教育がその役割の場となりえる。

——— < 今後の予定 > ———

12月28日(水) 仕事納め 1月4日(水) 仕事始め 26日(木) 別府地区公民館連合研修会～アストで開催、午前は来浦地区公民館の取組事例紹介(橋本館長発表)、午後情報交換会、市内史跡等現地研修

高齢者学級臨時講座開催 12月2日(金)

安岐町の魅力を再発見!

コロナ禍での公民館活動として提起した地域の魅力を再発見し、今後の公民館活動や市外に情報発信する取り組みを、今年度も実施しました。コロナ感染者の増加がみられるなか、参加者の人数制限等の感染対策をしながらの実施となりました。今回のコースを紹介。

行程

アスト発 → 諸田山神社・御田植祭伝承館 → 七島い工房
ななつむぎ → 安岐中央公民館ホール見学・研修 →
そらにわの丘 → 安岐城跡 → アスト着

(1) 諸田山神社・御田植祭伝承館

アストくにさきを13時にスタートして、最初に諸田山神社・御田植祭伝承館を訪れました。神社に隣接して建てられた伝承館ホール



河野館長(左)と小野区長(右)

では、諸田の小野区長より御田植祭の起りと祭の様子、また朝来地区公



民館の河野館長からは地区館の取り組みについて、資料にそって詳しく説明がありました。1821年に奈多



諸田山神社

八幡から伝えられた祭りも継者不足の課題を抱えていますが、地区外からの支援も得ながら、毎年盛大(春分の日)に実施しています。貴重な祭りの道具やお面等は、丁度大分県先哲資料館・秋季企画展「祭の記憶」に展示中で見学できませんでしたが、県指定無形民俗文化財指定の祭りを、ぜひ皆さんも一度諸田を訪ねてみてください。

(2) 七島藪工房ななつむぎ

宮崎出身の岩切千佳さんが始めた七島藪工芸の工房で、懐かしい織機やすばらしい作品の数々が作業場の中に展示されていました。翌日にイベントを控えた多忙な時間にもかかわらず、快く対応して頂きとても感謝しています。改めて国東のすばらしい七島藪の魅力を再認識することができました。(写真左は七島藪の敷物と右は畳表織機)



(3) 安岐中央公民館大ホール見学と公民館の取り組み

伊藤館長の案内で、安岐支所に隣接して新築された大ホールを訪れ、施設の概要や利用状況および安岐中央公民館の活動内容等を研修することができました。ホールの収容人数は移動いす200名、パイプ椅子を使えばさらに100名使用できます。安岐では、国東とは少しシステムが異なりますが、高齢者大学が6教室あり2年生で募集しています。この中には史跡教室(9名)もあり、11月に宇佐神宮や行幸会の歴史やゆかりのある神社等にも立ち寄り、学習を深めたそうです。

残りの研修内容については、次号に掲載したいと思います。

コロナ情報

■国東市コロナ対策本部の方針に変更はありません。

■大分県の対応(12月1日)～インフルエンザとの同時流行も懸念されることから、これからの対策が重要です。

基本的な感染対策の徹底(こまめな換気・屋内でのマスク着用・手洗い・3密回避)。特にこまめな換気が重要。30分に1回5分間窓を開けるか、常時開ける場合は10cmあけてください。併せて換気扇や空気清浄器の併用、二酸化炭素濃度計での確認もお勧めします。